

議会基本条例推進委員会記録（要旨）

日時 平成 28 年 11 月 25 日（金）
11 時 00 分～11 時 54 分
場所 第 1 委員会室

出席者 根岸委員長 野地副委員長 桑原委員 小笠原委員 二見委員 前田委員
杉崎委員 善波委員 二宮委員 添田議長
欠席者 なし
傍聴議員 露木議員 渡辺議員 一石議員
事務局 安藤局長 椎野課長
傍聴者 なし

○委員長 委員の改選を迎えることになるので、このメンバーでは最後の委員会になる。まず今日はこの間までの報告をさせていただく。

資料に基づき説明(議会基本条例推進委員会 議事資料)

○野地 先日、公開用資料を皆さまにチェックしていただいたが、午後の議会全員協議会(以下、全協)で議員全員に確認をしていただく。その前段階の最終チェックをする。副委員長から補足、変更点の説明をお願いする。記号等の変更については省略させていただく。全 4 か所を報告する。議会報告会の質疑応答記録の百合が丘児童館、1 ページ目追記である。空き家対策について、担当課に確認した。現在の補助制度は、住宅以外の利用は認められていないということであったので、補助制度活用の場合は、住宅のみということになる。

システムの利用について他にどんなことに利用できるかということであるが、言葉としては、今後の空き家対策に役立てていくということ。実際これから特定空き家云々とあるが、正式に言葉も決まっていないので、そういった点も含め今後の対策に利用するとのこと。

意見交換会である。山西防災コミュニティーセンター。国立小児病院跡地であるが、違約金支払い義務の必要性は発生しないと解釈している。その点のみとしている。

次に、コミュニティバスについて。私見と入れていたが、誤解を招きやすいので、表現を修正した。以上 4 か所である。

○委員長 報告会の後、担当課へ確認し、このような言葉遣いとしている。公開用の記録については、あと写真を何点か選択し、掲載をしたい。先日こちらの修正で時間を取られてしまったが、2 年間の中で思いついた点を挙げていただいた時に、参加者が少なかったという話、意見交換の充実

ということがそもそも議会内でもっとあると報告の場にその辺りの内容が出しやすいという意見をいただいた。もちろん報告会でも意見があれば発言していただいて構わないが、この2年間は、はじめワールドカフェ方式を学びに行った。その辺りから意見交換会の充実を目指してやってきた。どうするかという形は結論がないと思うが、やってみて良かった点、ダメだった点など感じていることがあれば是非意見をいただきたい。

○議長 反省点はそれぞれ関連すると思うので、それぞれ今後重点的に議論していかなくてはいけない。議会基本条例の本旨に入ると論点、争点を明確にして議論を尽くすというものがある。それが、議会運営のしかたというか、議論のしかた、進め方にその辺りの工夫を入れていかなくてはならないと、前回の勉強会ではその辺について議論した。今後の議会の進め方等を皆さんで議論していったらいいのではないかと思う。

○二見 場所の問題があると思う。町民センターで2回行ったが、参加者が1番少ない。1回目は私が声をかけた地元の方が6人から7人来てくれただけで、声をかけなかったら誰も来なかったかもしれない。場所の検討は必要である。

○委員長 場所の選定はいつも悩む。

○杉崎 二見委員が言ったように、なぜ町民センターは少ないのか。車も停められていいと思うが。声かけないと来ないようなものはやめた方がいいと思う。意識を持ってないからいけない。

○議長 参加者で車で来られるかたが少ないのではないか。そういう意味では、若い人や遠方から来るかたがおらず、近所のかたが来たりとその点では、利点が活かされていない。

○杉崎 最初に一色防災コミュニティーセンターで行った時のように、工夫も必要である。

○小笠原 先日、秦野市で報告会があった時、大分参加者が多く、どうしているのか聞いたところ、地道な声掛けということがあった。開催場所によって大きく違うこともあるとのことである。杉崎委員が言ったのは、理想的な建前だと思う。条例制定以降、ずっと報告会を開催してきたが、地域の方たちの声掛け、人と人との声掛けが、どう参加者の数に影響するかというのは事実である。町民センターは地域の管理の建物ではない。ラディアンは参加しやすい場所にある。町民センターとは違った存在感もあると思う。基本的には地域で利用している建物で今後も実施したほうがよいと思う。町民のかたたちの報告会に対する意識であるが、それぞれが自分の生活を持ち、暮らしの中の優先順位というものがあるわけで、生活習慣等もあるので、やはり夜に出たくないというかたもいるだろうし、お勤めしていて、来たくても来れない状況もある。参加しやすい曜日は十分に配慮すべき。先日の百合が丘児童館では、高

齢者が多いようであったが、中には若い方もいた。日曜日にやるメリットはある。若い方に参加していただき、これからのまちづくりをともに考えていくには重要である。

○善波

できれば地域の地区長との事前打ち合わせをして、その地区で問題になるようなことに焦点を当て、意見交換をする形だと人が集まるのではないか。特に、私の川匂地区の話をする、地区長に話を通し、固めておけば、場所設定もでき、地域の問題をテーマにあげることができる。

○議長

この議会報告会をどうしようかといった時に、一つの手段として、全地域を最初に回り、報告会・意見交換会を見ていただき、それから段々人が増えてくるはずだという思いでやってきたが、逆に人は減ってきた。これは一つは善波委員の言うような地域の問題が特定できればその手もある。小笠原委員、杉崎委員の言っていた呼びかけ、これも1つの手段ではある。全体的には総合力を高めないといけないのかなと思う。というのも、先ほどから言っている重要なことは、町民の皆様に議会に関心を持ってもらわないといけない。関心を持ってもらう方策を考えてきた。テレビ放映、議事録の公開等をしてきた。まだ力が及ばない。原点に戻り、総合力を高める。ネット配信を検討することや、議論のしかたにおいても、自由討議、論点争点を明確にすることなど。枝葉末節に走るのではなく、本質に戻り総合力を高めることがいいのではないか。そのために、もう一度皆さんと報告会・意見交換会の在り方、議会の議論のしかた、採決のしかた等までさかのぼる。町民とのコミュニケーションの取り方、テレビ、ネットを通してどのようにコミュニケーションを高めるか、この2年間、原点に戻り検討したほうがよい。

○前田

町立体育館で開催した時、梅沢の人は2人しかいなかった。水曜日の午後6時からということであったが、地区長に聞いたところ内容の良しあしではないと。設定する曜日、時間帯を考えればもっと集まると言っていた。平日ならば午後7時30分以降にしてほしいとのこと。日曜日なら午前中でもいいがということであった。

○委員長

場所、時間については、前々から話は合った。毎回投げかけが弱かった。

○議長

条例を作る過程の中で、説明会をいくつかの地区で行ったが、これが1番人数が多かった。恐らく、議会に対しての興味、関心はあると思うが、これだけ人数が減ってきたということは、我々は関心を高める努力を怠ってきたのかと思う。

暫時休憩 11時22分～11時36分

○議長

私が個人的に持っている感想は、議会基本条例をもって、このような活動を始めようとする時に、単純な目標というものがあり、町民のかた

に町政についてもっと興味を持っていただきたい。そのために議会の役割を果たしたい。そういうものが1つあった。もう1つ、町民の皆様のご意見を町政に反映するという目的があり、どのようにやるかという、政策会議というものを作ろうと。これは条例には入っていないが、これはテーマ、町の課題を決めて、議会と町の代表者を呼んで、町の政策、課題について議論をしていこうという2つの目標があった。それを踏まえ、今まで上手くできていないと感じているのであれば、もう一度条例を読んでいただき、もう一度検討すればいいのではないかと。

○野地

議会報告会と意見交換会という別の性質のものがあるとしたい。今回の反省でも出た、報告会については行政の報告はいらぬという言葉もあったので、議会の中でどのような議論があり、争点はなんだったのかという方へシフトしていきたい。もう1つ、意見交換会であるが、将来的なことを言うと漠然としてしまう。やはり今興味を持っていること、心配になっていることをテーマにしてもいいのかとしており、先日も意見が出た、議案の内容に沿ってやってみるということも1つある。例えば福祉の関係だと、恒道会の話が強い。税金を使っているのになぜ利用できないのかとか、仕事ができないのかという話をいただく。それから、現在では袖が浦プールについて意見をいただく。空き家についてもこれから動くと思うが、危ない、何とかしろ等の意見がある。身近なものを各地区でテーマとしてあげれば、イコール町政であるので、意見を言いたいというかたも増えるのではないかと。

○二見

論点、争点をはっきりさせ、議会はどのような結論にしたのかということが町民は1番聞きたいところ。それをしっかりやらなくてはいけないと思う。

○小笠原

来年度の予算編成方針を読んだとき、暗たんたる思いで、暗い気持ちになるばかりという内容であった。限られた予算をどう使っていくかということは、なかなか夢を持ってない部分があると思う。私たちが生活していく中で、税金セクターでやらなければいけない部分があり、それが公の仕事であるが、町民のかたの力を生かしながら、より暮らしやすいまちづくりをしていくことが重要であるので、やはり町民の皆様の提案が生きるような町にしていくことが重要。ワンパターン化した意見交換会ではなく、机上で話し合うだけでなく、現地で話し合うことをしたり、フィールドワーク等も取り入れてやっていけば、参加者も増えると考えている。私も不思議に思うが、町民の皆様は自由に町の施設などを見学できると思うが、なかなか個人でそういう設定をしていない、そこまでやれないというかたが多い。こちらが組み立てると参加しやすいという部分もあるので、あわせて現地で、かつての計画書を見ながら話したりするのが良いと思う。高齢者のかたは孫等が身近にいないと参加しづらいので、我々が出向き、一定のテーマを掲げ、集まってやるという

ことになれば、参加は増えるし、現場ならではの生の意見もお聞きできるのではないかと考え、そのように柔軟な考えで意見交換の場を設定してほしい。

○委員長　意見交換会については、割と自由。テーマ設定も委員会等をお願いするなど、チャンスはあった。今日いただいた意見はその時その時には出てこなかった。つい流れてしまう。議会でどう活用するか、目標の共有化、14名の個人活動があるのは当たり前である。集団でやることの意味をきちんと共有できればいいなと思う。

暫時休憩　11時45分～11時52分

○委員長　推進委員会では条例のチェック等もやらなければいけない中、報告会に時間を費やしてきた。町民とのまちづくりを、個人ではなく、議会としてどのようにやっていけるか、色々とやってきた。今日いただいた意見はやはり、参加者がいないことには始まらないだろうと。工夫をしてかなくてはいけない。また、コミュニケーションを取るということでは、町民のニーズと議員の発することのマッチングが大切であるという意見もあった。今日はフランクに意見を出していただき、2年間のまとめとしたい。次回の委員になられるかたには、継続してやっていただきたい。それでは、これにて議会基本条例推進委員会を閉会とする。

閉会　11時54分